

# 令和6年度 高松中学校グループ小中一貫教育構想

【学校教育目標】  
**自らきりひらく生徒**  
 ～主体性・社会性・継続性～ 視点1

<b>主体性</b>	自分の考えを豊かに表現し、進んで活動する子	『活力』
<b>社会性</b>	自他を認め合い、思いやる子	『人間関係力』
<b>継続性</b>	自分の将来に向かって、ねばり強く取り組む子	『夢』

## 実現のための三つの柱

### 『活力』を高める

- あいさつの充実 視点3
  - ・各校のあいさつ運動
  - ・月1回第4木曜日を『あいさつの日』に設定
- 主体的な学びの充実 視点2
  - ・ICTの効果的な活用
  - ・単元構想の充実
  - ・学年に応じた「聞く・話す」の指導
  - ・UDの学級経営
- 子ども主体の行事の推進

### 『人間関係力』を身につける

- SST(リソースフルトレーニング) 視点3  
**【軸となる取組】**
  - ・年間5回SSTの実施
  - ・共同の研修会の実施
  - ・ICTを使った交流
  - ・小中・小小の交流
  - ・「ありがとう」定着
- 道徳の充実 視点4
- 外部人材の活用 視点4
  - ・ゲストティーチャーや民間の専門家の活用

### 『夢』を持つ

- 「夢シリーズ」 視点4
  - ・外部人材を様々な場面で活用し、本物に触れる機会の設定
- キャリア教育の充実 視点4
  - ・職場体験学習
  - ・社会科見学
  - ・総合での地域学習
- 探求的な学び
  - ・総合的な学習の時間の充実
  - ・しずおか学「歴史・文化」「防災」登呂学習(中)

◎知・徳・体のバランスのとれた全人的な教育に基づく指導    ◎新型コロナの影響によるスキル低下に対応した指導  
 ◎新学習指導要領に基づいた、資質・能力を育む指導

